

イトーヨーカ堂向け乾しいたけの販売再開の取組み

1 これまでの取組みと取引中断

平成21年度から久慈地方森林組合が主体となり、久慈地方産の乾しいたけを(株)イトーヨーカ堂に直接販売するプロジェクトを立ち上げ、振興局予算で支援し、平成22年度から首都圏120店舗のイトーヨーカドー店でどんこ大を販売開始し、平成23年度はスライスを追加販売してきました。

しかし、平成23年度後半に東京都の放射性物質検査(乾燥状態)の結果、暫定規制値の500ベクレル以下であったが、その数値が公表され、イトーヨーカ堂の全ての店舗から撤去・返品となり、取引中断となりました。



2 品評会開催と放射性物質全戸検査

5月31日に久慈地区乾しいたけ品評会を開催し、全国品評会出品となる上位者を優先に放射性物質検査を実施し、全国に安全性と産地の元気を発信しました。更に管内約250戸の全戸検査を緊急に取組み、全て新基準値の100ベクレル以下の結果を得ました。

3 食の安全・安心セミナーの開催

返品された乾しいたけについては、新規の方法(水戻し)で放射性物質の検証し、新基準値以下であることを確認しました。



一方、7月5日に当振興局経営企画部と本庁産業経済交流課の共催で、イトーヨーカ堂の食品担当総括マネージャーの山田祥男氏を講師に「食の安全・安心パワーアップセミナー」を開催し、放射性物質の基礎知識や食品の品質管理を学ぶとともに、森林組合がこれまでの取組を発表しました。

4 安全出荷体制の構築と出荷再開

原木しいたけとほだ木の全戸検査が完了し、全て基準値及び指標値以下の結果となり、9月イトーヨーカ堂本部に結果報告と放射性物質検査による安全供給体制の提案により、10月中旬から出荷再開することが決定しました。今後は販売促進の取組みを行います。

